

事業評価の結果（内容評価項目）

福祉サービス種別 救護施設
施設名 れんげ荘

○判断基準の「a、b、c」は、評価項目に対する到達状況を示しています。
 「a」評価・・・よりよい福祉サービスの水準・状態、質の向上を目指す際に目安とする状態
 「b」評価・・・aに至らない状況=多くの施設・事業所の状態、aに向けた取組みの余地がある状態

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着 眼 点	コメント
A	1 支援の基本と権利擁護	(1) 支援の基本	① 利用者の自己決定を尊重した個別支援と取組を行っている。	b)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 1 利用者の自己決定を尊重するエンパワメントの理念にもとづく個別支援を行っている。 ■ 2 利用者の主体的な活動については、利用者の意向を尊重しながら、その発展を促すように支援を行っている。 ■ 3 趣味活動、衣服、理美容や嗜好品等については、利用者の意思と希望や個性を尊重し、必要な支援を行っている。 ■ 4 生活に関わるルール等については、利用者と話し合う機会(利用者同士が話し合う機会)を設けて決定している。 □ 5 利用者一人ひとりへの合理的配慮が、個別支援や取組をつうじて具体化されている。 □ 6 利用者の権利について職員が検討し、理解・共有する機会が設けられている。 	<p>利用者の活動について、職員は、利用者が自由に選択できるような声かけに努め、利用者のアセスメントを行い、自己決定を尊重した支援を行っています。さらに、月1回利用者の自治会「やまばと会」を開催するなど、利用者の意見を聞く機会を設けています。</p> <p>しかし、利用者一人ひとりに対する合理的配慮については、具体的な取組みについて課題があると感じている職員がいるようです。</p> <p>今後は、利用者の権利について、支援を通じてどのように具体化していくかの検討・理解・共有を行い、利用者の自己決定を尊重する支援が、日々の支援に反映されることを期待します。</p>

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着眼点	コメント
		② 利用者の自律・自立生活のための支援を行っている。	b)	■	7 利用者の心身の状況、生活習慣や望む生活等を理解し、一人ひとりの自律・自立に配慮した個別支援を行っている。	<p>救護施設という性質上、多種多様な利用者が利用されている状況をふまえ、クラブ活動や、訓練等本人のニーズに基づいた日中活動を提供しています。</p> <p>しかし、自立・自律のための支援については課題があると感じている職員がいるようです。また、行政手続や福祉サービスの利用等について、職員の情報共有には課題があるようです。</p> <p>今後は、職員一人ひとりが循環型セーフティネットとしての救護施設の役割を理解し、利用者の自立・自律のための支援について、個別支援計画に反映し、実施されることを期待します。</p>
				■	8 利用者が自力で行う生活上の行為は見守りの姿勢を基本とし、必要な時には迅速に支援している。	
		□	9 自律・自立生活のための動機づけを行っている。			
		■	10 生活の自己管理ができるように支援している。			
		□	11 行政手続、生活関連サービス等の利用を支援している。			
		■	12 必要に応じて他法による福祉サービスを利用できるよう支援している。			
		■	13 利用者が死亡した際の手続き等を確認し、適切に実施している。			
		③ 利用者の心身の状況に応じたコミュニケーション手段の確保と必要な支援を行っている。	b)	■	14 利用者の心身の状況に応じて、さまざまな機会や方法によりコミュニケーションがはかられている。	<p>利用者の状況に応じて、わかりやすい説明方法に配慮し、イラストや写真、ジェスチャー等を使って、利用者一人ひとりに合わせた支援を行っています。</p> <p>しかし、意思表示や伝達が困難な利用者の意思や希望の把握については、課題があると感じている職員がいるようです。</p> <p>今後は、必要に応じ、コミュニケーション機器の導入等、コミュニケーションが困難な利用者の意思を確実に把握する方法について、施設内で共通認識が必要かと思えます。</p>
				■	15 コミュニケーションが十分ではない利用者への個別的な配慮が行われている。	
				■	16 意思表示や伝達が困難な利用者の意思や希望をできるだけ適切に理解するための取組を行っている。	
				■	17 利用者のコミュニケーション能力を高めるための支援を行っている。	
				■	18 必要に応じて、コミュニケーション機器の活用や代弁者の協力を得るなどの支援や工夫を行っている。	

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着眼点	コメント
			④ 利用者の自己決定を尊重する支援としての相談等を適切に行っている。	b)	<input checked="" type="checkbox"/> 19 利用者が職員に話したいことを話せる機会を個別に設けている。 <input checked="" type="checkbox"/> 20 利用者の選択・決定と理解のための情報提供や説明を行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 21 利用者の自己決定の支援を適切に行っている <input checked="" type="checkbox"/> 22 相談内容について、関係職員による検討と理解・共有を行っている。 <input type="checkbox"/> 23 相談内容をもとに、個別支援計画への反映と支援全体の調整等を行っている。	<p>日ごろから利用者が相談しやすい環境作りを行い、思いをくみ取る支援が行われています。</p> <p>しかし、利用者からの相談内容をもとに、個別支援計画への反映と支援全体の調整を行うことについては課題があるようです。</p> <p>日常の支援の中で把握した利用者からの相談内容は、個別支援計画に反映され、情報共有されることが必要と思われます。また、それらをすべての職員が等しく理解し、利用者一人ひとりの自己決定を尊重する支援を行うことが求められます。</p>
			⑤ 個別支援計画にもとづく日中活動と利用支援等を行っている。	b)	<input type="checkbox"/> 24 個別支援計画にもとづき利用者の希望やニーズにより選択できる日中活動(支援・メニュー等)の多様化をはかっている。 <input checked="" type="checkbox"/> 25 利用者の状況に応じて活動やプログラム等へ参加するための支援を行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 26 利用者の意向にもとづく余暇やレクリエーションが適切に提供されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 27 文化的な生活、レクリエーション、余暇及びスポーツに関する情報提供を行っている。 <input type="checkbox"/> 28 地域のさまざまな日中活動の情報提供と必要に応じた利用支援を行っている。 <input type="checkbox"/> 29 個別支援計画の見直し等とあわせて日中活動と支援内容等の検討・見直しを行っている。	<p>利用者のアセスメントを行い、ニーズの把握を行っていますが、その内容が個別支援計画に反映されていませんでした。</p> <p>そのため、個別支援計画作成過程で明らかになった課題と、日中活動と利用者支援についての整合が確認できませんでした。</p> <p>今後は、アセスメントによって把握されたニーズが個別支援計画に反映されること、そして、個別支援計画に沿った支援を行い、それらが的確に記録されることが必要です。</p>

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着眼点	コメント
			⑥ 利用者の快適性と安心・安全に配慮した生活環境が確保されている。	b)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 30 利用者の居室や日中活動の場等は、安心・安全に配慮されている。 ■ 31 居室、食堂、浴室、トイレ等は、清潔、適温と明るい雰囲気を保っている。 ■ 32 利用者が思い思いに過ごせるよう、また安眠(休息)できるよう生活環境の工夫を行っている ■ 33 他の利用者に影響を及ぼすような場合、一時的に他の部屋を使用するなどの対応と支援を行っている。 ■ 34 生活環境について、利用者の意向等を把握する取組と改善の工夫を行っている。 	当施設は昭和57年に建てられたものですが、食堂、浴室、トイレをはじめ居室環境については、安全面での配慮は、衛生面での工夫などを重ね、利用者への配慮が行われていました。 また、利用者の高齢化、重度化から、車いすの利用者は1階、歩行可能な方は2階といった対応や、畳4人部屋を改修してベッド対応の居室にするなど、できる範囲での対応を行っていますが、利用者の快適性に配慮した取り組みとは言い難い状況にありました。 時代の変化と共に、居室の個室化など、施設の基準も変化しており、プライバシー保護の観点からは課題を感じます。 利用者の高齢化、重度化が進んでいる現状を踏まえ、災害時の避難方法の検討や、エレベーターの設置等、利用者の安心、安全への配慮だけでなく、プライバシーに配慮した取り組みが求められます。
		(2) 権利侵害の防止等	① 利用者の権利侵害の防止等に関する取組が徹底されている。 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-top: 10px;"> ○利用者の尊重と権利擁護は、福祉施設・事業所の使命・役割の基本であり、虐待等の権利侵害を防止することは法令で必須とされる事項です。よって、取組の重要性に鑑み、取組が十分でない場合には、「c」評価とします。 </div>	c)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 35 権利侵害の防止等のために具体的な内容・事例を収集・提示して利用者に周知している。 □ 36 権利侵害の防止と早期発見するための具体的な取組を行っている。 □ 37 原則禁止される身体拘束を緊急やむを得ない場合に一時的に実施する際の具体的な手続と実施方法を明確に定め、職員に徹底している。 ■ 38 所管行政への虐待の届出・報告についての手順等を明確にしている。 ■ 39 権利侵害の防止等について職員が具体的に検討する機会を定期的に設けている。 ■ 40 権利侵害が発生した場合に再発防止策等を検討し、理解のもとで実践する仕組みが明確化されている。 	利用者の権利擁護に関する規程、マニュアル等は整備されており、年1回の研修を行っています。 しかし、権利侵害の防止と早期発見のための取り組み等、これらに関して職員の認識に差があるようです。 今後は、職員一人ひとりが、日ごろから権利侵害とは何かについて、再認識することが必要と考えます。 そして、権利侵害の仕組みやその仕組みについての研修等を行い、職員に周知して、虐待防止のための更なる取り組みを充実させる体制を整えておくことが望まれます。

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着眼点	コメント
	2 生活支援	(1) 日常的な生活支援	① 利用者の障がい・疾病等の状況に応じた適切な支援を行っている。	b)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 41 職員は支援に必要となる専門知識の習得と支援の向上をはかっている。 ■ 42 利用者の障がい等による行動や生活の状況などを把握し、職員間で支援方法等の検討と理解・共有を行っている。 ■ 43 利用者の不適応行動などの行動障がいに関し、個別かつ適切な対応を行っている。 ■ 44 行動障がいなど個別的な配慮が必要な利用者の支援記録等にもとづき、支援方法の検討・見直しや環境整備等を行っている。 ■ 45 利用者の障がい等の状況に応じて利用者間の関係の調整等を必要に応じて行っている。 	<p>利用者の状況に合わせて、写真や図を使って具体的に構造化され、障がい状況に応じた適切な支援が行われています。</p> <p>また、障害特性や課題となる行動については定期的に検討会議を行い、職員間での情報共有を行うことで、より適切な支援につなげています。</p> <p>しかし、これらのことが個別支援計画に反映されておらず、確実に支援ができたかどうかの確認には課題があるようです。</p> <p>今後は、支援に必要な専門的知識の習得と支援についての専門的な研修等を継続的に行い、個々の利用者の状況に応じた個別支援が一定のマニュアルに沿って実施されることが必要です。</p>
			② 利用者の心身の状況に応じた日常的な生活支援を行っている。	b)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 46 利用者の心身の状況に応じて入浴支援や清拭等を行っている。 ■ 47 利用者の心身の状況に応じて排せつ支援を行っている。 ■ 48 利用者の心身の状況に応じて移動・移乗支援を行っている。 	<p>多様な利用者の心身の状況に応じ、入浴・排せつ・移動支援等を行っています。</p> <p>入浴は、一般浴と機械浴での対応を行い、排せつはおむつ対応者もいるため、状況に応じた対応を行っています。</p> <p>さらに、車いす、歩行器、手すりの利用等、利用者に合わせて対応を行っています。</p> <p>今後は、利用者の心身の状況の変化に応じた日常的な支援について、個別支援の標準的実施方法をマニュアル化し、そのうえで個別の支援が行われる必要があります。</p>

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着眼点	コメント
			③ 利用者の嗜好や心身の状況にあわせて食生活を支援している。	a)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 49 食事は利用者の嗜好を考慮した献立を基本として、おいしく食べられるように工夫されている。 ■ 50 食事を選択できるよう工夫している。 ■ 51 食事の環境と雰囲気づくりに配慮している。 ■ 52 利用者の心身の状況に応じて食事の提供と支援等を行っている。 ■ 53 誤嚥、窒息など食事時の事故発生の対応方法や衛生管理の体制を確立し、日頃から確認と徹底を行っている。 	<p>月1回の給食委員会が行われており、栄養士を中心として、業務委託会社と連携して食事サービスの向上に取り組んでいます。</p> <p>また、年2回の利用者への嗜好調査や、選択メニューや行事食、誕生会、季節ごとのメニューや、おいしいお菓子の日（月1回）、検食の結果をメニューに反映させる等、利用者の希望に応じた献立を取り入れて、おいしいメニューのための取り組みに努力されていることが伺えました。</p> <p>今後のさらなる食への取り組みの発展を期待します。</p>
		(2) 機能訓練・生活訓練	① 利用者の心身の状況に応じた生活訓練や機能訓練を行っている。	b)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 54 生活動作や行動のなかで、意図的な機能訓練・生活訓練や支援を行っている。 ■ 55 利用者が主体的に機能訓練・生活訓練を行えるよう工夫している。 ■ 56 利用者の障がいの状況に応じて専門職の助言・指導のもとに機能訓練・生活訓練を行っている。 ■ 57 利用者一人ひとりの計画を定め、関係職種が連携して機能訓練・生活訓練を行っている。 ■ 58 定期的にモニタリングを行い、機能訓練・生活訓練計画や支援の検討・見直しを行っている。 	<p>利用者の心身の状況に応じ、嘱託医や職種間との連携を図りながら、理学療法士による月4回の機能回復訓練や日常生活援助、外出支援、農作業や各種クラブ活動等を行っており、利用者の作品が施設内に展示され、皆さんの励みになっているようです。</p> <p>また、車いすの利用者や歩行補助の利用者が27人、食事、入浴、排せつ等の全介助が必要な利用者が10人という中、職員の状況等により、その内容や対応回数については検討の余地があると感じられました。</p> <p>今後は、限られた環境での工夫等を行い、更なる支援の向上を期待します。</p>

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着眼点	コメント
		(3) 健康管理・医療的な支援	① 利用者の健康管理の支援と体調変化時の迅速な対応等を適切に行っている。	b)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 59 日頃から支援のさまざまな場面をつうじて、利用者の健康状態の把握に努めている。 ■ 60 医師又は看護師等による健康相談や健康面での説明の機会を定期的に設けている。 ■ 61 利用者の障がい・疾病の状況にあわせた健康管理の支援や健康の維持・増進のための工夫を行っている。 ■ 62 利用者の体調変化等における迅速な対応のための手順、医師・医療機関との連携・対応を適切に行っている。 ■ 63 利用者の健康管理等について、職員研修や職員の個別指導等を定期的に行っている。 	<p>当施設の看護師や、他機関の専門職等と連携して利用者の健康管理及び体調急変時の対応を行っています。</p> <p>また、健康管理委員会が中心となって、健康教室等を行い、生活を通しての健康管理を行っています。</p> <p>今後は、利用者の健康管理等に関する職員研修等の機会を設けることにより、利用者の健康管理に関する職員の意識の向上につながることを希望します。</p>
		(3) 健康管理・医療的な支援	② 医療的な支援が適切な手順と安全管理体制のもとに提供されている。	b)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 64 医療的な支援の実施についての考え方(方針)と管理者の責任が明確であり、実施手順や個別の計画が策定されている。 ■ 65 服薬等の管理(内服薬・外用薬等の扱い)を適切かつ確実に行っている。 ■ 66 慢性疾患やアレルギー疾患等のある利用者については、医師の指示にもとづく適切な支援や対応を行っている。 ■ 67 利用者の通院、入院などを適切に支援している。 ■ 68 医師や看護師の指導・助言のもと、安全管理体制が構築されている。 ■ 69 医療的な支援に関する職員研修や職員の個別指導等を定期的に行っている。 	<p>嘱託医(内科・精神科)との連携を密に、医療的な支援を行っています。</p> <p>また、健康管理委員会や感染症対策委員会を中心として、定期的に手順の見直しや安全管理体制の見直しを行っています。</p> <p>今後は、服薬に関する研修を行うこと及びマニュアル等の整備を行うことが必要と考えます。また、職員間で情報共有を行い、不測の事態に早急に対応できる体制を強化することが求められます。</p>

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着眼点	コメント
	3 自立支援	(1) 社会参加の支援	① 利用者の希望と意向を尊重した社会参加のための支援を行っている。	b)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 70 利用者の希望と意向を把握し、社会参加に資する情報や学習・体験の機会を提供する等、社会参加への支援を行っている。 ■ 71 利用者の外出・外泊や友人との交流等について、利用者を尊重して柔軟な対応や支援を行っている。 ■ 72 利用者の希望と意向を尊重して資格取得等の学習支援を行っている。 ■ 73 利用者の社会参加の意欲を高めるための支援と工夫を行っている。 	<p>市民ふれあい広場や文化祭見学等の社会参加を行っています。また、地域の店舗への買い物支援等の取り組みを行っています。</p> <p>しかし、「利用者の希望と意向を尊重しているか」については課題があるようです。</p> <p>今後は、利用者の希望と意向を尊重し、利用者の将来を見据えた外出や、地域交流の機会の提供など、社会参加に対する意欲を高められる活動を行うことが期待されます。</p> <p>また、これらの取り組みが個別支援計画に記載され、計画的な社会参加が行われることを望みます。</p>
		(2) 就労支援	① 利用者の働く力や可能性を尊重した就労支援を行っている。	b)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 74 利用者一人ひとりの働く力や可能性を引き出すような取組や工夫を行っている。 ■ 75 利用者一人ひとりに応じた就労支援を行っている。 ■ 76 利用者の意向や障がいの状況にあわせて、働くために必要なマナー、知識・技術の習得や能力の向上を支援している。 ■ 77 働く意欲の維持・向上のための支援を行っている。 ■ 78 仕事や支援の内容について、利用者と定期的に話し合いを行っている。 ■ 79 地域の企業、関係機関、家族等との連携・協力のもとに就労支援を行っている。 	<p>地域の関係機関と連携し、利用者一人ひとりに応じた就労支援を行っています。</p> <p>そして、一人ひとりの働く可能性を引き出す工夫や、意向や障害状況に合わせた知識、技術の習得、働くことに対する意欲の向上等に向けた取り組みを行っています。</p> <p>現状では、利用者の高齢化、重度化と就労支援は相反した取り組み課題とは思いますが、今後は、救護施設の役割として、利用者の働く力や可能性を尊重した支援が行われることを希望します。</p> <p>また、これらの取り組みが個別支援計画に記載され、計画的な就労支援が行われることを望みます。</p>

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着眼点	コメント
		(3) 家族等との連携・支援	① 利用者の家族等との連携と支援を適切に行っている。	b)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 80 家族等との連携・交流にあたっては、利用者の意向を尊重して対応を行っている。 ■ 81 利用者の生活状況等について、定期的に家族等への報告を行っている。 ■ 82 利用者の生活や支援について、家族等と交流する機会を設けている。 ■ 83 家族等からの相談に応じ、必要に応じて助言等の家族支援を行っている。 ■ 84 利用者の体調不良や急変時の家族等への報告・連絡ルールが明確にされ適切に行われている。 ■ 85 帰省（外泊等）中の利用者と家族等の支援を行っている。 ■ 86 利用者の生活と支援に関する家族等との連携や家族支援についての工夫を行っている。 	<p>救護施設という性質上、利用者家族との連携が難しい中、当施設では、年に1回利用者の誕生日に、家庭に「家庭通信」を配布し、支援担当、看護師、栄養士からの報告を行っています。</p> <p>今後は、利用者の体調不良時の家族への報告等を含め、利用者の家族との連携に関する取り組みがマニュアル化されることを希望します。</p>

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着眼点	コメント
		(4) 地域生活への移行と地域生活の支援	① 利用者の希望と意向を尊重した地域生活への移行や地域生活のための支援を行っている。	a)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 87 利用者の希望と意向を把握し、地域生活に必要な社会資源に関する情報や学習・体験の機会を提供している。 ■ 88 利用者の社会生活力と地域生活への移行や地域生活の意欲を高める支援や工夫を行っている。 ■ 89 地域生活への移行や地域生活について、利用者の意思や希望が尊重されている。 ■ 90 地域生活への移行や地域生活に関する課題等を把握し、具体的な生活環境への配慮や支援を行っている。 ■ 91 地域生活への移行や地域生活のための支援について、地域の関係機関等と連携・協力している。 	<p>施設機能の活用として、居宅訓練事業では令和4年度、延べ16人が日常生活訓練や社会生活訓練を実施しました。</p> <p>また、自立準備ホームの提供や、就労訓練事業を行っています。</p> <p>今後は、施設として、利用者に地域移行の取り組みについての情報提供及び働きかけを行い、利用者の意向を尊重した取り組みが行われることが必要と思われます。</p> <p>また、これらの取り組みが個別支援計画に記載され、計画的な地域移行生活支援が行われることを望みます。</p>
	4 地域の生活困窮者支援	(1) 地域の生活困窮者等の支援	① 地域の生活困窮者等を支援するための取組や事業を行っている。	b)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 92 地域の生活問題や生活困窮者等について、職員の学習や協議する機会を設けている。 ■ 93 地域の生活困窮者等の支援について、地域の関係機関や他の福祉施設・事業所と情報交換している。 ■ 94 生活困窮者等の支援における救護施設の専門性や支援ノウハウを関係機関等と共有している。 ■ 95 地域の生活困窮者等を支援するための事業・活動を実施している。 ■ 96 地域の生活困窮者等の支援ネットワークの構築や事業・活動に参画・協力している。 	<p>生活困窮者支援の一環として生活困窮者自立支援法に基づく中間的就労（まいサポからの依頼）として、農作業、施設整備、草取り等を行っています。</p> <p>また、生活保護受給者が対象となった場合には、施設独自の就労支援を実施しています。</p> <p>今後は、地域の生活困窮者を支援するための仕組みについての研修等を行い、職員一人ひとりが、救護施設の業務として意識的に取り組むことが必要と思われます。</p> <p>また、これらの業務がマニュアル化されることを望みます。</p>